

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月06日

計画の名称	大山崎町における安全・安心な下水道整備（防災・安全）												
計画の期間	平成29年度～令和03年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	大山崎町												
計画の目標	下水道施設の計画的な維持管理と改築を行うことで、安全・安心なまちづくりとともに良好で継続的な下水道サービスを提供する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,258	A	1,258	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H29当初	H31末	R3末
1	汚水中継ポンプ場における長寿命化対策実施率を72%（H29）から100%（H31末）とし、完了させる。 汚水中継ポンプ場における長寿命化対策率 対策済機器／対策予定機器（31機器対策済／全43機器）	72%	100%	100%
2	ストックマネジメント計画策定の進捗率を0%（H29）から100%（H31末）とし、完了させる。 ストックマネジメント計画の策定進捗率 計画策定完了の事業区域面積／全事業区域（328ha）	0%	100%	100%
3	ポンプ場における耐水化計画策定実施率を0%から100%（R3末）とし、完了させる。 ポンプ場における耐水化計画策定実施率 計画策定施設/計画策予定施設（3施設）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
		一体的に実施することにより期待される効果 備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	新設	大山崎排水区 (大山崎排水ポンプ場)	排水機場増設 Q=10.2m ³ /s	大山崎町	■					760		—
		H30より重点計画に移行																	
	A07-002	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	管渠 (汚水)	改築	大山崎汚水中継ポンプ場 長寿命化対策	設備の改築・更新	大山崎町	■	■	■			106		策定済
		長寿命化計画																	
	A07-003	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	管渠 (汚水)	—	大山崎汚水中継ポンプ場 耐震化対策	耐震化工事	大山崎町	■					80		—
	A07-004	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	管渠 (汚水)	—	大山崎・西淀・南長岡処 理分区	管渠等調査・浸入水対策	大山崎町	■	■	■	■	■	56		—
	A07-005	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	—	—	ストックマネジメント計 画 (管渠・ポンプ場)	調査・検討・設計・工事	大山崎町		■	■	■	■	246		未策定
		ストックマネジメント計画																	
A07-006	下水道	一般	大山崎町	直接	大山崎町	ポンプ場	—	下水道施設 (ポンプ場) 耐水化対策	耐水化計画策定 (ポンプ場3 箇所)	大山崎町						■	10		—
										小計							1,258		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

大山崎町において、目標と指標の達成状況を評価。

事後評価の実施時期

令和5年8月

公表の方法

町ホームページにおいて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・汚水中継ポンプ場における長寿命化対策を実施し対策率が100%となった。
- ・ストックマネジメント計画を策定し策定進捗率が100%となった。
- ・ポンプ場における耐水化計画を策定し策定実施率が100%となった。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

- ・汚水中継ポンプ場の信頼度が上がり、故障による排水不能のリスクが低減した。
- ・ストックマネジメント計画策定により、更新スケジュールが明確となり更新費用の支出が平準化された。
- ・耐水化計画の策定により、浸水によるポンプ機能喪失のリスク箇所が明確となり耐水化対策の進捗が見込まれる。

○特記事項（今後の方針等）

- ・今後各下水道施設においては、ストックマネジメント計画に基づき更新を行う。
- ・耐水化計画により対策が必要となった施設については、計画に基づき耐水化を推進します。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	対策済機器／対策予定機器（43機器対策済／全43機器）	
	最終目標値	100%
2	計画策定完了の事業区域面積／全事業区域（328ha）	
	最終目標値	100%
3	計画策定施設／計画策定予定施設（3施設）	
	最終目標値	100%